

# エンジェルストランペットの育て方

## ■年間作業カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状況	休眠			生育			開花・生育					
置き場 (鉢植)	室内			日当たりの良い屋外								
灌水 (鉢植)	表土が乾いたら与える				タップリ与える							
肥料								月1回				

下向きに垂れ下がり、ラッパ状の大きくエキゾチックな花を咲かせる熱帯花木のエンジェルストランペット。夕方になると香を漂わせます。

※エンジェルストランペットは全草にアルカイドを含み**有毒**ですので、栽培にあたり口に入れたり、傷口に触れたりしないようにしましょう(ダツラも同様です)。



## ■ダツラとエンジェルストランペット

エンジェルストランペットの近縁種であるダツラは、ナス科ダツラ属の一年草で、別名チョウセンアサガオと言います。ダツラ属の植物の特徴は、花が上向きに咲き、果実にとゲがあります。これに対し、ブルグマンシア属は、花は下向きで果実にとゲがありません。ただし、日本ではエンジェルストランペットをダツラ属に分類されることが少なくありません。混同に注意しましょう。

	属	花の向き	トゲ
エンジェルストランペット	ブルグマンシア属	↓	×
ダツラ	ダツラ属	↑	○



## 管理方法

### ■水やり

春から秋の生育期間には枝葉が茂り、水分を多く必要とします。水切れをおこすと、花芽が落ちたり、ハダニが発生しやすくなりますので、天気の良い日は1日1回与え、夏は1日2回与えます。庭植えは、ひどく乾いた時のみ与えます。



### ■肥料

エンジェルストランペットは株が大きく育ち、多肥を好みます。肥料不足にならないように施します。春から秋の生育期に、鉢植は2ヶ月に1回、緩効性化成肥料を施します。庭植えは月に1回化成肥料を施します。



多肥を好みます  
肥料不足にならないように注意

### ■置き場

#### ■鉢植え 時期:春～秋

春から秋は日光のあたる場所に管理します。ただし、夏の高温多湿を嫌いますので、鉢植の場合は木陰などに移すと良いです。サンガイネアやキャンディダは特に暑さを苦手としますので注意が必要です。



春・秋  
日光をあてる



夏  
木陰に避難

#### ■鉢植え 時期:冬

エンジェルストランペットは比較的耐寒性が強い熱帯花木であり、霜の降りない暖地では戸外で冬越しができます。その場合、戸外での越冬は軒下やベランダなどに移動します。また、寒さの厳しい期間(0℃以下)や、早くから花を楽しむために寒冷紗などで防寒をすると良いでしょう。



## 管理方法

### ■置き場

#### ■庭植え

植える場所は、できるだけ日光のあたる場所を選びます。冬越しは戸外ですと春からの回復が遅く、開花に時間がかかります。そこで秋に地植えした株を掘り上げて鉢に植えます。鉢に入るように太い根は切ります。また、上部は太い幹を残して切り落とします。広がった枝もひもでしばってまとめます。

積雪地帯や、氷がはったり霜の降る地域では地上部が枯れ上がりますので、室内などで半休眠状態で冬越しさせます。

#### ■芽かき

5～6月、茎の地際から出てきた芽をそのまま放置すると、中心となる茎の生長が悪くなったり、樹形がくずれたりするので、芽かきをしましょう。

